

製品名: ATG5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81908**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	32.4kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG5
別名	ASP; APG5; APG5L; hAPG5; APG5-LIKE
遺伝子 ID	9474.0
SwissProt ID	Q9H1Y0
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG5 (AA: 144-275) の精製された組み換え断片。

背景

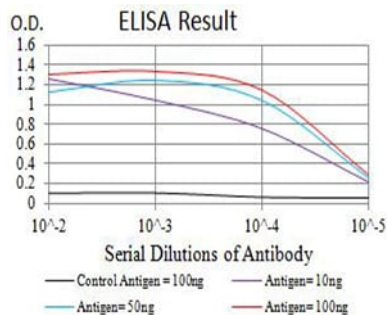
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、オートファジータンパク質 12 と結合して、ユビキチン様結合システムにおいて E1 様活性化酵素として機能します。コードされるタンパク質は、オートファジー小胞の形成、酸化損傷後のミトコンドリアの品質管

理、自然抗ウイルス免疫応答の負の調節、リンパ球の発生と増殖、MHC II 抗原提示、脂肪細胞分化、アポトーシスなど、いくつかの細胞プロセスに関与しています。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されています。

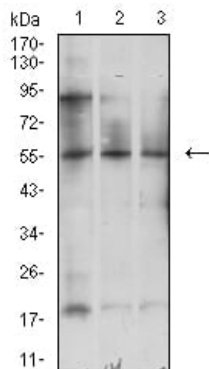
研究分野

オートファジー、アポトーシス

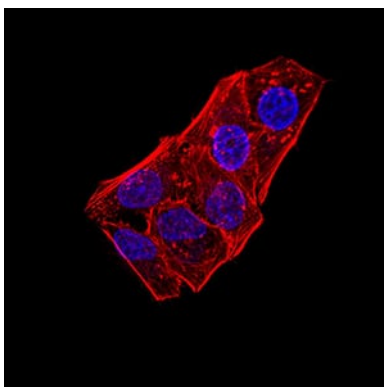
画像データ



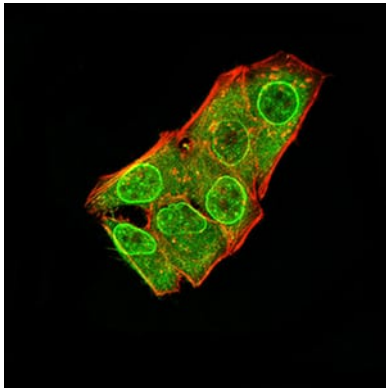
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



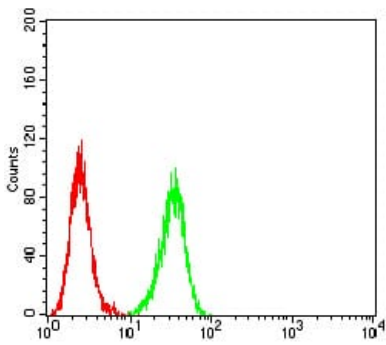
K562 (1)、SH-SY5Y (2)、および HCT116 (3) 細胞溶解物に対する ATG5 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



ATG5 マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



ATG5 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ATG5 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。